

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 11 月 6 日(2024.11.6)

【公開番号】特開 2024-153725(P2024-153725A)
【公開日】令和 6 年 10 月 29 日(2024.10.29)
【年通号数】公開公報(特許)2024-202
【出願番号】特願 2024-117596(P2024-117596)
【国際特許分類】

H 0 1 S 3/038(2006.01)
H 0 1 S 3/0975(2006.01)

10

【F I】
H 0 1 S 3/038 Z
H 0 1 S 3/0975

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 10 月 23 日(2024.10.23)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

第 1 の方向に沿って延びる第 1 の列のキャパシタと、
前記第 1 の列のキャパシタに平行に延びる第 2 の列のキャパシタであって、前記第 1 の列のキャパシタとは異なる数のキャパシタを有する、第 2 の列のキャパシタと、
前記第 1 の列のキャパシタに平行に延び且つ前記第 1 の列のキャパシタと前記第 2 の列のキャパシタとの間の中央線と位置合わせされた第 1 の電極であって、前記第 1 の列のキャパシタと前記第 2 の列のキャパシタとに電氣的に連結される、第 1 の電極と、
を備える放電チャンバ。

30

【請求項 2】
前記第 1 の列のキャパシタは、前記第 2 の列のキャパシタよりもキャパシタを 2 つ多く有する、請求項 1 に記載の放電チャンバ。

【請求項 3】
前記第 1 の列のキャパシタは、第 1 の容量値と、前記第 1 の容量値とは異なる第 2 の容量値とを含む、請求項 1 に記載の放電チャンバ。

【請求項 4】
前記第 1 の列のキャパシタの両端部における 2 つのキャパシタは、第 1 の容量値を有し、前記両端部の間の他のキャパシタは、前記第 1 の容量値とは異なる第 2 の容量値を有する、請求項 1 に記載の放電チャンバ。

40

【請求項 5】
前記第 1 の列のキャパシタの前記両端部の間の前記他のキャパシタの各々は、前記第 2 の列のキャパシタの各キャパシタと同一の容量値を有する、請求項 4 に記載の放電チャンバ。

【請求項 6】
前記第 1 の電極に平行に延びる第 2 の電極を更に備え、前記第 2 の電極は、第 1 の列の導体と第 2 の列の導体とに電氣的に連結され、前記第 2 の列の導体は、前記第 1 の方向に沿って前記第 2 の電極の中央線を中心に前記第 1 の列の導体と対称に配列される、請求項 1 に記載の放電チャンバ。

50

【請求項 7】

前記第 1 の列の導体の各導体に連結された第 1 の導電バスを更に含み、前記第 1 の方向に沿う前記第 1 の導電バスの長さは、互いに離隔した関係で配列された前記第 1 の列の導体の累積寸法よりも大きい、請求項 6 に記載の放電チャンバ。

【請求項 8】

前記第 1 の方向に沿って前記第 2 の電極の前記中央線を中心に前記第 1 の導電バスと対称に配列された第 2 の導電バスを更に含み、前記第 2 の導電バスは、前記第 2 の列の導体の各導体に連結される、請求項 7 に記載の放電チャンバ。

【請求項 9】

放電チャンバと、

10

第 1 の方向に沿って延びる第 1 の電極であって、前記第 1 の電極は、第 1 の列のキャパシタと第 2 の列のキャパシタとに連結され且つ前記第 1 の列のキャパシタと前記第 2 の列のキャパシタとの間に配列され、前記第 1 の列のキャパシタ及び前記第 2 の列のキャパシタは、少なくとも 2 つのコンダクタンス値を有する、第 1 の電極と、

前記第 1 の方向を横切る第 2 の方向に沿って前記第 1 の電極と離隔する第 2 の電極であって、第 1 の列の導体と、第 2 の列の導体とに連結され且つ前記第 1 の列の導体と前記第 2 の列の導体との間に配列される、第 2 の電極と、
を備える放射源。

【請求項 10】

前記第 1 の列の導体の各導体は、第 1 の導電バスとプレートとに連結され、前記第 2 の列の導体の各導体は、第 2 の導電バスと前記プレートとに連結され、前記第 1 の方向に沿って前記第 1 の導電バスは、前記第 1 の列の導体の累積寸法よりも長く且つ前記プレートよりも短い、請求項 9 に記載の放射源。

20

【請求項 11】

前記第 1 の列のキャパシタは、前記第 1 の方向に沿って前記第 1 の電極の中央線を中心に前記第 2 の列のキャパシタと対称に配列される、請求項 9 に記載の放射源。

【請求項 12】

前記第 1 の列のキャパシタの総容量値は、前記第 2 の列のキャパシタの総容量値とは異なる、請求項 11 に記載の放射源。

【請求項 13】

30

前記第 1 の列のキャパシタは、前記第 1 の方向に沿って前記第 1 の電極の中央線を中心に前記第 2 の列のキャパシタと非対称に配列される、請求項 9 に記載の放射源。

【請求項 14】

前記第 1 の列のキャパシタは、前記第 2 の列のキャパシタよりもキャパシタを多く有する、請求項 9 に記載の放射源。

【請求項 15】

前記第 1 の列のキャパシタは、前記第 2 の列のキャパシタよりもキャパシタを 2 つ多く有する、請求項 9 に記載の放射源。

40

50